ライフサイエンス事業

DDS分野において、活性化PEGや機能性脂質などの高機能素材を提供しています。また、医薬品分野、医療用デバイス分野、診断薬分野に向け、生体適合性素材を展開しています。





主な用途

医薬品　薬・ワクチン　コンタクトレンズ　診断薬

事業の強み

- 医薬・医療分野に広く採用
- DDS向け活性化PEGの世界シェアNo.1
- バイオ医薬品や核酸医薬品の開発に貢献
- 高い生体適合性素材「LIPIDURE®」を保有
- 「LIPIDURE®」の幅広いラインナップ
- 研究から製品化まで製薬・医療機器メーカーをサポート

事業の見通し（リスク・機会）

- 競合他社の参入による競争の激化
- 顧客の開発遅延リスク
- タンパク質・ペプチド医薬などの市場拡大
- 核酸医薬、遺伝子治療市場の拡大

成長戦略

POINT 成長市場における活性化PEG需要の獲得

タンパク質・ペプチド医薬市場は、2025～2034年までで、年率約10%の成長が予測されています。日油の活性化PEGは、タンパク質・ペプチド医薬の水溶性や滞留性を向上させる優れた機能が特長です。この製品力を活かし、拡大する市場において、活性化PEG需要を獲得することが今後の重要な戦略となります。

POINT 最新GMP体制や供給能力の強化

医薬品GMPは、医薬品製造における品質管理の国際的な基準です。日本では厚生労働省によってGMP省令が定められ、品質と安全性が守られています。日油は安全を最優先と捉え、常に最新のGMPに対応する体制を構築しています。そして、供給能力の強化による差別化を図り、競争優位の維持に努めます。

POINT 研究開発と新市場の開拓

大学などの研究機関との共同研究や、研究開発投資による新製品の創出を進めています。2025中期経営計画においてタンパク質医薬・ペプチド医薬や、核酸医薬品用途に向けて外部との連携を進めたほか、2026年度にはヘルスサイエンス研究所を設立しました。今後、この体制を活用し、さらなる新市場を開拓していきます。

TOPIC

再生医療素材

ニーズが高まっている再生医療市場に対し、日油は細胞の接着を抑制するためのコーティング剤となる生体適合性素材（MPCポリマー）を提供しているほか、最近では、細胞凍結保存液や精製用試薬など新規素材の開発も行っています。さらに、国内のバイオスタートアップ企業をはじめとした社外組織との共同研究も進め、新技術の開発、新事業の展開を準備しています。

